

農林漁業のうごき

京都府 No.177 平成28年 なつ号

全国育樹祭まもなく！準備が着々と進んでいます
(2~4、12ページに関連記事)



第40回全国育樹祭京都府実行委員会第二回総会

▲ 苗木のホームステイ

▲ プランターカバーづくり

©京都府まゆまる 2858007

主な内容

特集 1	全国育樹祭直前！ますます盛り上がっています！！	2~4
特集 2	安心・安全づくり 子どもたちへの食育に関する新しい事業をスタート！！ ／京都の環境にやさしい農業者を応援してください！	5
特集 3	ものづくり・販路づくり 新たな京のブランド産品『京たんごメロン』と『京山科なす京漬物』／牛の妊活事業をスタート…… ／大阪・淀川の毛馬水門で天然鮎を捕獲し、京都の川に放流！ ／酒造業界と密着した酒米振興	6~7
	平成28年春 黄綬褒章受章者の紹介	7
シリーズ	世界に誇れる宇治茶の魅力 第1回 宇治茶の品種	8
シリーズ	農林水産技術センターへようこそ 第1回 農林センター	9
地域の取組	京丹後市炭生産者 柴原稔さん 特用林産功労者賞を受賞…… 舞鶴市杉山に農村レストラン「名水杉山彩房」が開店！！ 新規就農者の仲間づくりも伴走支援 最新鋭！府内最大のナス集出荷施設が竣工	10~11
シリーズ	第6回 第40回全国育樹祭（平成28年秋）に向けて	12

全国へ届け、森への思い

苗木のホームステイ

全国から選ばれた緑の少年団へ、式典行事の「みどりの贈呈」で贈られる苗木。この苗木のうち、アラカシ、コナラ、クヌギは京都モデルフォレスト運動の中で採取し、発芽させました。これに北山杉（府の木）としだれ桜（府の花）を加えた計5種が、現在、府内の緑の少年団の手で大切に育てられています。贈呈された苗木は、各地の少年団活動地で活用されます。



苗木のホームステイ



苗木の引き渡し（3月25日）

第40回

育樹の輪 ひろく

全国育樹祭

森を守り育て、次の世代へとつなげる
開催を前に、地元の子ども達を中心に緑を育てる取

10月8日（土）お手入れ行事

10月9日（日）式典行事

「京都のおもてなし」でお出迎え

式典音楽隊・式典アテンド

地元中高生や、は開催地である南丹それぞれに練習を当日は、林業関係典を盛り上げます。



式典アテンドの初回練習（6月11日）

ますます盛り上がっています!!

花で溢れる会場に

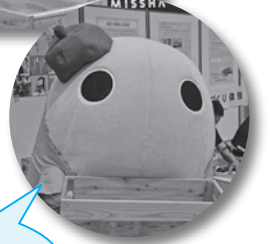
プランターカバーづくり・会場設営

育樹祭の会場に設置する飾花。府内の農業系高校・大学や、京都府花き生産組合連合会、ボランティア団体等の方々が栽培に関わっています。

また、その飾花を入れるプランターカバーをイベントや緑の少年団の活動の中で作っています。このプランターカバーや式典会場の木製ステージなどは北山丸太等の府内産材が使用されており、北桑田高校や府森林組合、府木材組合連合会の協力のもと、準備を進めています。



指導員に教えてもらって、プランターカバーづくりに挑戦



まゆまるも手伝ったです~

げる森と 木の文化

育樹祭

ことを目的に開催される全国育樹祭。組や、おもてなしに向けた取組が始まっています。

山城総合運動公園 (宇治市)

府民の森ひよし (南丹市)

京都府警察、アマチュア団体で結成された式典音楽隊。また、式典アテンド市園部高校のみなさんが担当します。

重ね、来場者に楽しんでいただけるよう、頑張っています。

者による北山杉の枝打ちの実演なども予定されており、地域一丸となって式



式典音楽隊の初回練習 (5月7日)

京都モデルフォレスト運動 10周年

全国育樹祭が開催される今年は、京都モデルフォレスト運動10周年の年でもあります。豊かな恵みをもたらしてくれている森を、府民みんなで守って育てる「京都モデルフォレスト運動」。地域住民の皆さんやNPO、企業などが協力し合って森林整備などの活動を行っています。この運動のはじまりと一例をご紹介します。

●「京都モデルフォレスト運動」のはじまり

京都府には豊富な森林資源があります。面積は、中部地域を中心に府全体面積の75%を占めており、平安京の時代から京都の森林は木材や食料など、人々の生活にいかされてきた大切な資源でした。さらに、森には地球温暖化の防止や災害の防止など、今もいろいろな役割があります。

森の恩恵は直接的ではなくても、必ずみんなが受けているものです。

そこで、みんなで間伐などの手入れを行って、陽が差し込む元気な森にしましょうということから京都モデルフォレスト運動は始まりました。



●どんなことをしているの？

ほったらかしにされてしまった森林の間引き作業や植樹活動が多いですが、それぞれの活動地域によって森林の形態は様々です。中には、綺麗な花が残るように、周りの木を切ることもあります。また、活動地で伐った木を使って階段や山道を作ることで、府民のみならず、より京都の森に来てもらえるような活動も行っています。

さらに、森林の役割や安全な作業方法についての勉強会や森林について学ぶ講座を開くなど、森林整備以外にも、森を守る活動を進めています。

10周年記念事業

モデルフォレスト運動について、さらに多くの人々が理解を深め、ともに発展させていくための取組が、今、始まっています。

記念シンポジウム

京都モデルフォレスト運動の方向を探る記念講演、パネルディスカッションなど
(7月30日開催)

親子向け講座

- 森の手入れと工作体験で森を知る (8月)
- 京都の文化と森のつながりを学ぶ (3月)

森づくり連続講座

森林整備・安全教育・獣害対策などをテーマにした座学や現地見学など (9月から府内各地で実施予定)

特集2

安心・安全づくり

子どもたちへの食育に関する新しい事業をスタート!!

食育は健全な心身と豊かな人間性を育むために必要なものです。

京都府では、未来を担う子どもたちに食への関心を深めてもらうために、新たな事業を開始しました。

■エディブルスクールヤード事業

全ての小・中学校で、本格的な農業体験を行う取組です。農家の方々に地元の学校への協力を呼びかけ、技術と仕事に対する情熱や、食べものを大切に作る心を子どもたちへ伝える支援をします。

■食育 KIDS 応援事業

幼稚園や保育所に調理体験用の調理器具の貸出しと指導者派遣等を行う取組です。

幼児期は、食べることに対する興味が一気にふくらみ、自身の味蕾も発達する時期。調理の体験を通じて、生涯にわたる食の自立を促すきっかけを作ります。



食育活動を行う児童、園児たち

食の安心・安全推進課 食育・地産地消担当 TEL：075-414-5652

京都の環境にやさしい農業者を応援してください!

「京都の環境にやさしい農業のススメ」発行

京都府では、健全な土づくりなどを通じて、化学肥料・化学農薬の使用等による環境への負荷を軽減し、農業の持続的な発展や自然環境の保全に貢献する「環境にやさしい農業(※)」を推進しています。

このたび、消費者や実需者の皆様に、栽培方法等にこだわった農産物をもっと知っていただく試みとして、農業者のコメントやこだわりポイントを紹介するパンフレットを初めて発行しました。

このパンフレットをきっかけに、京都の環境にやさしい農業者を是非ごひいきにしてください。

(※)エコファーマー、京都こだわり農法、特別栽培農産物、有機農業など。本パンフレットではそれぞれの言葉もわかりやすく解説しています。



パンフレット表紙
(平成28年3月発行)

パンフレットは、京都府HPからダウンロードできます
(<http://www.pref.kyoto.jp/nosan/kankyopamphlet.html>)

農産課 環境にやさしい農業推進担当 TEL：075-414-4945

特集3

ものづくり・販路づくり

新たな京のブランド産品『京たんごメロン』と『京山科なす京漬物』

今年、新たに2つの特産品が「京のブランド産品」に認定されました。ぜひご賞味ください。

■京たんごメロン

これまで「琴引メロン」として知られていた丹後の高級メロンです。京丹後市内で、安心・安全と環境に配慮した栽培方法により生産され、甘さや大きさ、網目の美しさなどの基準をクリアしたもののだけが『京たんごメロン』として出荷されます。

■京山科なす京漬物

京のブランド産品「京山科なす」を使用した、色鮮やかで歯切れの良い丸漬けです。京都府内の漬物業者の高い技術で製造され、『京山科なす京漬物』として販売されます。



「おいしさと信頼の目印」
京マークと
『京たんごメロン』

流通・ブランド戦略課 ブランド推進担当 TEL：075-414-4941

牛の妊活事業をスタート ～碓高原牧場で雌牛がリフレッシュ！～



放牧でリラックス中

碓高原牧場では、高品質な和牛子牛の増産を進める事業を新たにスタートしました。

和牛子牛を生産する農家にとって、長期間妊娠しない牛は経営を圧迫する要因になってしまいます。

こうした雌牛を府内の農家から年間30頭程度預かり、放牧や繁殖技術を用いて妊娠しやすい体づくりを行います。さらに肉質や増体のよい雄牛との人工授精により、効率的な生産を進め、生産農家の経営安定を支援します。

畜産センター碓高原牧場 肉牛・放牧担当 TEL：0772-76-1121
畜産課 畜産振興担当 TEL：075-414-4983

大阪・淀川の毛馬水門で天然鮎を捕獲し、京都の川に放流！

京都の川に天然鮎を増やすため、淀川水系の漁業協同組合と京都府が協力し、海から淀川を遡上する鮎の最初の関門となる毛馬水門で鮎を捕獲し、桂川・宇治川・木津川の合流点付近に放流する取組を行いました。

鮎の遡上に配慮した水門の操作を行っている国の淀川河川事務所とも連携して実施したもので、放流した鮎が各河川をどこまで遡上するか調査します。



(左) 毛馬水門で天然鮎を捕獲
(中央) 捕獲した鮎 (右) 京都の川に放流

水産課 漁政企画担当 TEL：075-414-4992

酒造業界と密着した酒米振興

京都酒米振興プロジェクト京都乙訓部会（事務局：JA 京都中央）は、酒米生産者47名（栽培面積約27ha）を対象に、需要に応じた生産量の確保と品質向上を目指し、栽培見学会や情報配信などを行っています。

また、部会の構成機関は、消費者向けの酒米づくりイベントなどを行っている、伏見を中心とした蔵元や生産者と協力してPRにつなげています。

イベントの参加者からは「日本酒が大好きなので、酒づくりの原点を体験できて楽しかった」などのお声をいただいています。

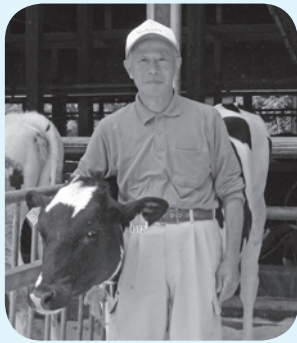


酒米「祝」の田植えを体験する消費者の方々
（京都市伏見区 平成28年6月5日）

京都乙訓農業改良普及センター TEL：075-315-2906

平成28年春 黄綬褒章受章者の紹介

平成28年春、京都府で長年農林水産業に従事してこられた方々が黄綬褒章を受章されました。この度受章された山崎 俊邦さん、比賀 守さんをご紹介します。



やまさき としくに
山崎 俊邦さん

現 酪農業
現 京都農業協同組合理事

乳牛1頭から事業を拡大し、現在64頭飼育されています。堆肥を利用し再度飼料へと循環させる自給飼料生産に早期に取り組みられ、耕畜連携による地域農業の活性化に長く貢献されています。

〈ご本人コメント〉

酪農業を始めて56年、災害を含め多くの困難がありました。その都度多くの方々や牛に助けられ、ここまですることができました。

今後は、次世代の若い担い手に繋げていきたいです。

ひが まもる
比賀 守さん

現 比賀木材代表
現 株式会社北桑木材センター取締役
現 京都農業協同組合理事

長年にわたり素材生産業を営み、いち早くヘリコプターによる桁丸太の運搬を開始するなど、時代に応じた技術を林業に取り入れてこられました。関係団体の要職を歴任するなど、現在にいたるまで林業の振興に大きく寄与されています。

〈ご本人コメント〉

山と木を育ててこられた人への感謝を忘れず、何世代にもわたって育てられた木を伐採し、木材の安定供給を進めてきました。木材需要が多様化する中、間伐等自然を守るための林業振興は不可欠だと思います。



農政課 総務担当 TEL：075-414-5653

シリーズ 世界に誇れる宇治茶の魅力

宇治茶は室町時代から日本茶のトップブランドとして評価され、日本のみならず世界の茶道など喫茶文化に貢献しています。世界に誇れる宇治茶の魅力をシリーズで紹介していきます。

第1回 宇治茶の品種

宇治茶の生産を支える品種

宇治茶は、12種の京都府奨励品種をはじめ多くの品種で構成されています。

高品質な宇治茶を代表する、「あさひ」、「ごこう」と京都府が最近育成した2品種を紹介します。(いずれも京都府奨励品種)

あさひ

民間育成者が宇治市で昭和28年に育成。香味、色沢とも極めて優れています。(てん茶用)

ごこう

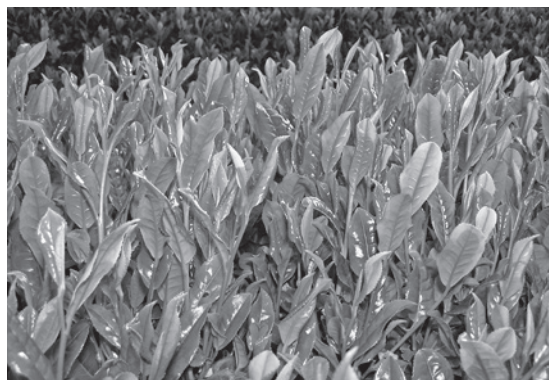
京都府が昭和28年に育成。濃厚で独特な香りをもっています。(玉露用)

展茗

京都府が平成18年に育成。親品種「さみどり」同様、高品質でありながら、多収です。(てん茶用)

鳳春

京都府が平成18年に育成。香気が強く、新鮮みがあります。(玉露用)



「展茗」の新芽

品種を守る「遺伝資源園・採梢園」



「遺伝資源園・採梢園」(日本遺産)

京都府茶業研究所(宇治市)では、昭和14年から在来実生園^{ざいらいみしょうえん}(※)の原樹をベースにした品種改良に取り組んでいます。

これらの優良系統茶樹は「遺伝資源園・採梢園」^{いでんしげんえん さいしょうえん}で保存・活用されています。この茶園は、平成28年4月には宇治茶を継承する取組として、日本遺産「日本茶800年の歴史散歩～京都・山城」の構成文化財として追加認定されました。

(※)在来実生園：種を撒いて(=実生)繁殖させた茶園。茶樹の繁殖方法は、主に実生と挿し木があります。近年は改良された品種を挿し木で増やす茶園が多くなっており、在来種の消失が危惧されています。

お茶こぼれ話

5月26日に開催された「伊勢志摩サミット」において、最高級^{きょうきゅう}のてん茶を用いて水出しされたボトリングティー「京都宇治碾茶 The Uji」や玉露とてん茶の高級ブレンド茶「玉碾^{ぎょくでん}」が正式採用され、宇治茶で各国首脳らをもてなしました。

シリーズ 農林水産技術センターへようこそ

京都府の研究機関の研究内容や成果をご紹介します

第1回 農林センター

京野菜、宇治茶や酒米など高品質な農産物生産の研究に加え、府内産木材利用や鳥獣害対策など地域環境の維持・保全のための研究に取り組んでいます

研究1：スマートフォンで手軽に追肥診断

良食味米の生産には、イネの生育量に応じた追肥を行うことが大切です。農林センターでは、スマートフォンで撮影したイネの画像から生育量を算出し、追肥の適正量を診断するアプリを京都大学と共同で開発しています。経験の少ない新規就農者などにも活用していただけるよう、早期の実用化を目指します。さらに今後は、中干しや刈取の適期判断などの機能も加え、より安定した良食味米の生産に利用できるよう研究を進めます。

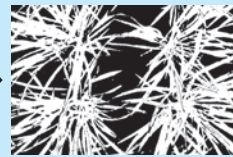
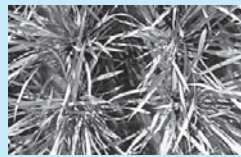


スマホで撮影

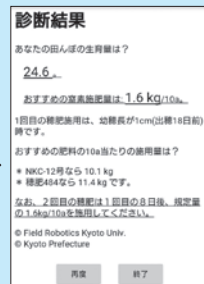


送信

アプリ



画像を加工して生育量を計算



農林水産技術センター 農林センター 作物部 TEL：0771-22-5010
丹後農業研究所 TEL：0772-65-2401

研究2：ヘアリーベッチによる省力・低コストな豆栽培技術

ヘアリーベッチは初夏に紫色の花を咲かせるマメ科の一年草で、畑の土壤に直接すき込んで肥料とする緑肥作物としても利用されます。



定植直前までにすき込みます

農林センターでは、このヘアリーベッチを活用した豆栽培技術の研究を進め、ヘアリーベッチをすき込むだけで、堆肥と肥料を施用した慣行栽培とほぼ同等の収量を確保できる技術を確認しました。



ヘアリーベッチの花

この技術は、労力軽減、資材費の削減につながることから、今後は、省力・低コスト化が重要な大区画での豆栽培を中心に、作成した栽培マニュアルを活用して、技術普及を図ります。

農林水産技術センター 農林センター 環境部 TEL：0771-22-6494

地域の取組

丹後

京丹後市炭生産者 くわはらみのる 栗原 稔 さん 特用林産功労者賞を受賞



栗原さんの炭窯

京丹後市丹後町上山で平成4年から木炭を生産している栗原稔さんが、日本特用林産振興会が実施する第29回特用林産功労者賞を受賞され、本年5月に東京都内のホテルで表彰式が行われました。

栗原さんは、自ら炭生産を行うだけではなく、技術向上・伝承のため「丹後炭生産者の会」の設立に貢献。丹後地域の活性化に大きく寄与されています。また、後継者育成のため意欲ある若者を積極的に受け入れ、技術指導を行って

おられる点も高く評価され、今回の受賞となりました。



表彰式記念撮影
 (後列中央が栗原さん)
 (平成28年5月)

丹後広域振興局 農林商工部 森づくり推進室 林業振興担当 TEL : 0772-62-4306

中丹

舞鶴市杉山に農村レストラン「めいすいすぎやまさいぼう名水杉山菜房」が開店!! ~明日の「京都村」づくり事業~

明日の「京都村」づくり事業に取り組む舞鶴市杉山地区で、地域ぐるみで運営する農産加工場兼農村レストラン「名水杉山菜房」が平成28年3月に完成しました。

米粉や山菜など地元食材を使った料理づくりや地域内外から訪れるお客様との交流により、新たな活気が生まれています。

当面、土・日及び祝日のみの営業ですが、杉山地区では当店を新たな交流拠点として、住民も楽しめるコミュニティビジネスの展開を目指しています。



オープンした「名水杉山菜房」



レストラン内の様子 (平成28年3月)

中丹広域振興局 農林商工部 地域づくり推進室 TEL : 0773-62-2505

南丹

新規就農者の仲間づくりも伴走支援

南丹農業改良普及センターでは、南丹管内の概ね45歳までの就農間もない方等を対象に全10回の「京都丹波就農サポート講座」を実施しています。今年も22名が受講しており、受講者の年齢も近く、また、志を同じくして、抱える悩みを共感しあえる貴重な仲間づくりの場となっています。

一方、近年の受講者の過半数は管外からの移住者のため、知人も少なく、さらなる交流の場が求められています。そこで、講座開催日は正午から持ち寄りのランチミーティングを企画。普及指導員も参加する中、知識・情報、そして人脈の環が広がっています。



ランチミーティングで広がる知識・情報そして人脈
(平成28年6月)

南丹広域振興局 農林商工部 南丹農業改良普及センター 担い手づくり担当
TEL：0771-62-0665

山城

最新鋭！ 府内最大のナス集出荷施設が竣工

平成28年3月30日、府内随一のナス産地である京田辺市に京都やましろ農業協同組合のナス集出荷場が完成しました。製函機や袋詰機などの包装が自動化されたほか、最新鋭の選果機は自動計量を行い、カメラで色や形を解析しコンベアで仕分けができます。



自動化された集出荷場



竣工式のテープカット（平成28年3月30日）

これにより、農家の出荷作業の軽減が期待されます。今後は京都やましろ農業協同組合ナス部会を中心に生産面積の拡大を図ります。府内卸売市場への出荷はもちろんのこと、築地市場や外食産業へも直送する予定です。

総事業費	262,930千円
年間取扱量	846 t (ピーク時7.6 t/日)

山城広域振興局 農林商工部 企画調整室 農業振興・担い手担当
TEL：0774-21-3229

シリーズ 第6回

第40回全国育樹祭(平成28年秋)に向けて

森へのリレーメッセージ「森への思い」を募集中!!

皆様の思いを綴ったメッセージカードが、全国育樹祭の式典会場である府民の森ひよし(南丹市)に届けられます。

現在、専用の投函箱がゴールの南丹市に向けて府内各地をリレー中(9月30日まで)。投函されたメッセージは、10月9日の式典当日、会場のモニュメントを飾ります。

※メッセージカードは投函箱に備え付けてあります。

※9月9日(金)~9月30日(金)はスプリングスひよしや各イベント会場でメッセージの投函ができます。

※各リレー地についてはHPをご覧ください(「森へのリレーメッセージ」で検索)

記入例

水をきれいにしてくれてありがとう

山登りサイコー!



リレーメッセージ投函箱・出張イベント

京都京北・木こり技能大会
~森林の収穫祭~

林業のプロが技術を競う「木こり技能大会」や林業機械の展示・実演、丸太切り競争などの親子で楽しめるイベントを開催!

開催日: 9月17日(土)、18日(日)

場所: あうる京北(京都府立ゼミナールハウス) あうるの原っぱ

京都丹州もくもくフェスタ

家族で参加できる競技大会をはじめ、アウトドアスポーツ体験コーナーやジビエなどの地元食品の販売、山で働く大型機械のデモ実演など「京都丹州木材市場」を舞台に開催!

開催日: 9月24日(土)

場所: 京都丹州木材市場(綾部市小畑町)

モデルフォレスト・全国育樹祭推進課 TEL: 075-414-5012

広告

搾りたてのおいしさを丹後ジャージー牧場からお届けします。

Tango Jersey Farm Dairy kitchen
SORA
KYOTO KUMIHAMA

Jersey Milk 100%

有限会社 丹後ジャージー牧場 ミルク工房そら
〒629-3441 京都府京丹後市久美浜町神崎411
TEL0772-83-1617 FAX 0772-83-1677 http://www.tango-jersey.co.jp

広告

夏のご贈答に丹後王国 京都最北端の地ビール醸造所
丹後クラフトビール

SMOKED MARZEN AMBER ALE NEUTRAL Pilsner RONDORALE Pilsner MEISTER

お問合せ先 丹後王国「食のみやこ」TEL:0772-65-4193
H.P. https://tango-kingdom.com 「丹後クラフトビール」で検索

▶ 広告について 京都府においては、府民の皆様からお預かりしている大切な府有資産等(ホームページ、印刷物、施設等)を有効活用して得られた収入を、府の政策実現に活用し、府民満足の向上を図るため、平成19年12月から広告事業に取り組んでいます。本冊子についてもホームページを通じた公募を行い、応募いただいた民間企業等の広告を本冊子に掲載しております。

発行/平成28年7月

編集/〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入 京都府農林水産部農政課 TEL: 075-414-4946 E-mail: nosei@pref.kyoto.lg.jp

京都府人権啓発イメージソング「世界がひとつの家族のように」は、「お互い支え合うことの大切さ」をイメージした歌です。歌い広め、「いま、わたしたちにできること」を考えてみませんか
公式ホームページ <http://www.jinendo.co.jp/sekaigahitotsunokazoku/>